【SR-8　評価シート　エビデンス総体（絶対効果指標の結果を記入する場合）】

診療ガイドライン	非浸潤性乳管癌に対して術後内分泌療法は推奨されるか？
対象	非浸潤性乳管癌
介入	内分泌療法(AI)
対照	内分泌療法(TAM)

エビデンスの強さについて，RCT は「強（A）」からスタート，観察研究は「弱（C）」からスタート。
＊各ドメインは「高（−2）」，「中／疑い（−1）」，「低（0）」の3 段階。
＊＊エビデンスの強さは「強（A）」，「中（B）」，「弱（C）」，「非常に弱（D）」の4 段階。
＊＊＊重要性はアウトカムの重要性（1 ～ 9）。

エビデンス総体

								リスク人数（アウトカム率）														
アウトカム	研究デザイン／研究数	＊バイアスリスク	＊非一貫性	＊不精確性	＊非直接性	＊その他（出版バイアスなど）	＊上昇要因（観察研究）	対照群分母	対照群分子	（%）	介入群分母	介入群分子	（%）	効果指標（種類）	効果指標統合値	95%信頼区間	＊＊エビデンスの強さ	＊＊＊重要性	コメント	絶対効果	効果指標統合値	95%信頼区間
無浸潤癌乳房内再発	RCT/7	0	0	0	0	0	0	3027	44		2988	37		RR	0.85	0.55-1.32	強(A)	8		RD		
無浸潤癌再発生存期間	RCT/	0	0	0	0	0	0	3027	44		2988	37		HR	0.85	0.55-1.31	強(A)	8		RD		
無再発生存期間	RCT/	0	0	0	0	0	0	3027	197		2988	157		HR	0.79	0.64-0.97	強(A)					
生存期間	RCT/	0	0	0	0	0	0	3027	124		2988	131		RR	1.06	0.84-1.35	強(A)	8		RD		
治療関連有害事象(grade 1 以上)	RCT/	0	0	0	0	0	0	3027	2611		2988	2540		RR	0.99	0.97-1.01	中(B)	7		RD		
Bone fracture	RCT/	0	0	0	0	0	0	3027	150		2988	1988		RR	1.34	1.09-1.65	中(B)	7		RD		
thromb	RCT/	0	0	0	0	0	0	3027	61		2988	19		RR	0.31	0.19-0.53	中(B)	7		RD		

コメント（該当するセルに記入）